

# 第 7 回 柏市長杯 手賀沼エコヨットレース

## 帆走指示書

### 1. 適用規則

本ヨットレース(以下、本レース)は、ISAF『国際セーリング競技規則 2017-2020』(以下、RRS)に定義された「規則」を適用する。

### 2. 競技者への通告

競技者への通告は、アルバトロスヨットクラブ(以下、AYC)の艀装品倉庫前に設置する陸上本部(以下、陸上本部)の公式掲示板に掲示される。

ただし、悪天候などでレース日程の中止を含む変更が見込まれる場合は、レース前日の 19:00 までに AYC の電子掲示板に掲示する。

### 3. 帆走指示書の変更

3-1 帆走指示書の変更は、レース当日の 07:30 までに陸上本部の公式掲示板に掲示され、艇長会議で再通知する。

3-2 水上での帆走指示書の変更は、本部艇上で音響信号 1 声と L 旗掲揚により通知する。

### 4. 陸上で発する信号

4-1 陸上で発せられる信号は、陸上本部に掲揚される。

4-2 回答旗が陸上で掲揚された場合、レースは延期され、予告信号は回答旗降下(音響 1 声を伴う)後、15 分以降に発せられる。

### 5. レースの日程

5-1 レース日程および場所

平成 30 年 8 月 19 日(日) 手賀沼

5-2 クラス及びレース数

クラス	レース数
ダブルハンドクラス	2
シングルハンドクラス	2

5-3 最初のレースの予告信号予定時刻は 09:55 である。

5-4 第 2 レースの予告信号は第 1 レースの最後尾艇のフィニッシュから 20 分後とする。

ただし、先頭艇のフィニッシュから 35 分以内に予告信号を発する。

5-5 13:00 より後に予告信号を発しない。

## 6. クラス旗

6-1 クラス旗は次のとおりとする。

ダブルハンドクラス	AYC 旗
シングルハンドクラス	レーザー旗

6-2 レースエリア

添付書 A にレースエリアを示す。

6-3 コース

添付書 B および添付書 C に、それぞれ第 1 レースおよび第 2 レースで通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。

## 7. マーク

7-1 マーク 1 は白色球形ブイ、マーク 2、3 はオレンジ色球形ブイ、マーク 4、5、6 は黒色球形ブイとする。

7-2 本部艇にはオレンジ色旗を掲揚する。

7-3 スタートマークおよびフィニッシュマークは、スターボードの端にある本部艇と、ポートの端にあるマーク 3 とする。

7-4 手賀沼大橋橋脚下の通過は、同橋橋脚前後に設置するマーク 5 及び 6 に直近の橋桁下のみを使用する。なお、マーク 5、6 の左右いずれの橋桁下を通過してもよい。

## 8. スタート

8-1 レースは、次のとおりスタートさせる。

信号	表示	
予告信号	クラス旗掲揚および音響 1 声	(スタート 5 分前)
準備信号	P 旗掲揚および音響 1 声	(スタート 4 分前)
1 分前	P 旗降下および音響 1 声	(スタート 1 分前)
スタート	クラス旗降下および音響 1 声	(スタート)

8-2 スタートラインは、本部艇のオレンジ色旗のポールとマーク 3 の間とする。

8-3 予告信号が発せられていない艇は、他のレースのスタート手順の間、他のレースのレース艇を回避しなければならない。

8-4 本部艇は、リコールした艇があったとき、音響 1 声を発し、当該艇のセール番号の下 2 桁を読み上げる。

8-5 スタート信号後 4 分以内にスタートしない艇は、審問なしに『スタートしなかった』と記録される。

## 9. マークの位置変更

9-1 マーク位置の変更は、AYC 旗を掲揚する監視艇に C 旗を掲揚し、反復音響信号を発する。

9-2 コース短縮の場合、監視艇がマークを移動し、これを先頭のレース艇に通告する。

## 10. フィニッシュ

フィニッシュラインは本部艇のオレンジ色旗のポールとマーク 3 の間とする。

## 11. ペナルティー方式

RRS 44.1、RRS 44.2 を適用する。

すなわち、艇がマークタッチした場合は、他の艇を避けて、速やかにタック 1 回とジャイブ 1 回を含む 1 回転ペナルティーを履行することができる。レース中に艇が出会った場合の規則に違反したかもしれない場合は、他の艇を避けて、速やかにタック 2 回とジャイブ 2 回を含む同一方向への 2 回転ペナルティーを履行することができる。

## 12. タイムリミット

先頭艇がフィニッシュした後 15 分以内にフィニッシュしない艇は、審問なしに『フィニッシュしなかった』と記録される。

## 13. 抗議と救済の要求

抗議書は、陸上本部で入手できる用紙に記入の上、最終レース終了後 60 分以内に陸上本部へ提出しなければならない。陸上本部は抗議書受領後速やかにプロテスト委員会を組織する。

## 14. 得点

14-1 得点方式は、RRS 附則 A『低得点方式』を用いる。

14-2 本レースが成立するためには、各クラスで 1 レースずつ完了していなければならない。

14-3 同点の場合、第 1 レースの結果を優先して順位を定める。

14-4 スタートまたはフィニッシュしなかった艇は、以下の略語を用いて記録され、得点を与える。

略語	意味	得点
DNC	スタートしなかった艇(スタートエリアに来なかった)	参加艇数+1
DNS	スタートしなかった艇(DNC と OCS 以外)	参加艇数+1
OCS	スタートしなかった艇(リコールを解消しなかった)	参加艇数+1
DNF	フィニッシュしなかった艇	参加艇数+1
DSQ	失格した艇	参加艇数+3
RET	リタイヤした艇	参加艇数+1

## 15. 安全規定

15-1 出艇申告は出艇前に、帰着申告は帰着後 30 分以内に行わなければならない。

出艇申告及び帰着申告用紙は陸上本部に用意する。

15-2 リタイヤした艇は、速やかに運営艇または陸上本部にリタイヤする旨を伝えなければならない。

15-3 レース艇が自ら救助を求める場合、救助する船に対して片手を高く上げて合図すること。

15-4 運営艇または陸上本部は、危険な状態にあると判断したレース艇に対し、リタイアを命じ、または強制的に救助を行うことができる。

## 16. 運営艇

運営艇とその標識は、次のとおりとする。

本部艇	オレンジ色旗
監視艇	AYC 旗

## 17. ゴミの処分

艇は運営艇にゴミを渡してもよいが、水中にゴミを捨ててはならない。水中にゴミを捨てた艇は、審問なしに『失格』とする。

## 18. 賞

18-1 シングルハンド部門 1 位に賞状およびトロフィー、2 位、3 位に賞状を授与する。

18-2 ダブルハンド部門 1 位に賞状およびトロフィー、2 位、3 位に賞状を授与する。

## 19. 責任の否認

本レースの競技者は、自分自身の責任で参加する。RRS 4『レースすることの決定』参照。AYC は、本レースの前後、期間中に生じた物的損害または人身傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

以上